

定例教育委員会会議録

令和4年11月24日

境港市定例教育委員会（令和4年11月24日委員会会議録）

招集年月日 令和4年11月24日 13時

招集場所 市役所第3会議室

開 会 13時 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 松 原 隆

教育総務課長 角 純 也

生涯学習課長 松 本 昭 児

教育総務課長補佐兼指導係長 柳 楽 力 人

教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

提出議案 なし

協議事項 なし

報告事項 11月行事報告、12月の行事予定

新型コロナウイルス感染症における対応等について

【1. 開会】

山本教育長 ただいまから11月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

山本教育長 本日はこの後、教育総合会議もございますので、長丁場になります。よろしくお願いいたします。そうしますと、本日、議決事項、協議事項ともございませんので、進行は事務局の方でお願いします。

足立補佐 それでは報告事項について教育総務課よりお願いします。

【4. 報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》
コロナ対応について松原局長より報告

足立補佐 ただいまの説明についてご質問等がありますでしょうか。

中田委員 コロナについて学校行事が起因だという説明でしたが、日にちが結構経ってから出ていますが、保健所としてはやはりそこが起因だと考えているのでしょうか。また、児童はそうだとした場合、保護者の方はどうだったのでしょうか、家庭内感染とかはどうだったのでしょうか。

松原局長 先ほどの人数は家庭内感染の陽性者も含まれており、学校全体のトータルした人数になります。但し14日に19名確認されておりますが、これは一つの学年だけの人数になりますので、学校全体であれば、感染経路がはっきりしないところもあるのですが、一つの学年だけでたくさん確認されていますので、振り返ってみて、学校行事しか思い当たるところがないということで、そこを判断されたということです。

中田委員 症状はどうですか。比較的軽い感じですか。

松原局長 PCR検査された中にも無症状でしたが、陽性だったというお子さんもかなりの数ありました。すぐに発熱等の症状が出る

お子さんもあれば、無症状だったお子さんでも後から発熱等の症状が出てきたというケースもありました。

中田委員

社会活動は結構活発に動いてきていますが、学校はこのような形で引き締めを図っていると何かアンバランスなことになっていると感じております。その辺り考える時期に来ていると思います。

十河委員

子どもたちのワクチン接種率が低いと聞いておりますが、その辺りも影響しているのでしょうか。

山本教育長

1回でも受けた人が2割に満たないということでした。6ヶ月から4歳の子どもにも接種をするようにという文書を福祉保健部から配りましたので、市教委としても小中学校に文書を配付しようということで、「接種しなさい」とは言えませんので、「10月の頭に文書が届いていると思いますが、もしもなくしていたら再発行できますよ」というような内容にしようと思っています。重症化を防ぐということやインフルエンザとの同時接種が可能であるということをもう一度周知するという意味で出そうと思い、今文面を考えており、今度の校長会で周知し、懇談の時に担任から手渡ししてもらおうと考えております。

中田委員

学校側だけの見解で保護者が納得していただけるのかというところがあって、病院の先生からワクチンとはどういったものかというところを聞いたりすると、納得される部分があったりするのかなと思います。学校側だけの話だと、保護者も「えっ」となるところがあるかもしれませんので、専門家の見解も合わせて聞くと良いのかもかもしれません。

松本課長

以前に鳥大の機関紙の中で専門の先生が専門的な観点からワクチンは危険なものではないということをお話している記事を読んだことがあるのですが、そういった内容が伝わっていけば、科学的な根拠に基づかないような、必要以上に怖がるということ等について、少しは減らせるのかなと思います。

中田委員

まことしやかに伝わるのが一番怖いだろうし、正しいことを阻害してしまうことにつながることもあると思いますので、

その辺りについても考えてもらおうと良いかと思えます。

山本教育長

本当は学校でワクチンの有効性をしっかり伝えらえる仕組みがあつて良いと思えます。学校は言うなということをもしかしたら教育委員会が出しているかもしれません、これは考えないといけません。教員を学ばせて子どもたちに伝える役割があるのだから、それをもう一度再考するという段階に持っていかないといけないと思えます。どうしても隣を見て「やっている、やっていない、じゃあやめる」という前年踏襲という体質があります。これを打破していかないと変わらないと思えます。親はやっぱり不安で、知識がなくて、情報がない、自分は接種したら熱が出て大変だったとなると、子どもには打たせたくないという気持ちになる。親も同じで「打たせた、打たせてない、じゃあうちも」ということになります。それを破るのは学校の教育だと思えます。いかに正しいことを学んでいくのか、自分の知恵に結びつけるかというところが教育になるので、その仕組みからすると教育委員会がやらないといけないと思えます。先日の臨時校長会で校長先生方に話したときも「ぜひやってください」という声が多く、反対意見はゼロだったので、今進めているところです。

十河委員

ワクチンの有効性というところが確認されている中で、接種率を上げていかないと学校側でこれだけ対策していても状況が好転していかないので。

中田委員

学校医があまり表に出てきていないので、こういう時に学校医として「ワクチンはこういうものです」というところを発信してもらえると良いのですが。

山本教育長

今、「経済は動いて、人は移動して、学校だけ閉じろ、じっとしていなさい」となっていますので、アンバランスを埋めるためにも学校医が専門的知識を持って説明していただくような機会、例えば「リモートで何時に学校医がお話しますので聞いてください」というような形をとることもおもしろいかもしれません。

中田委員

何が大切な情報かというところをここで判断することが大事

だと思えます。

足立補佐 そのほかいかがでしょうか。

渡邊委員 図書館の副館長が西部消防学校や市役所職員研修の講師をされていますが、その中身は何ですか。

松本課長 図書館のレファレンスサービスがあるのですが、調べ物を図書館でして、それを業務に活用するという講演なのですが、例えば予算要求にあたって、図書館でこういうデータを調べたらより良い政策立案ができますといった内容の講演です。

足立補佐 そのほかいかがでしょうか（質問等なし）。次回日程確認。

【5. 閉会】

山本教育長 それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。